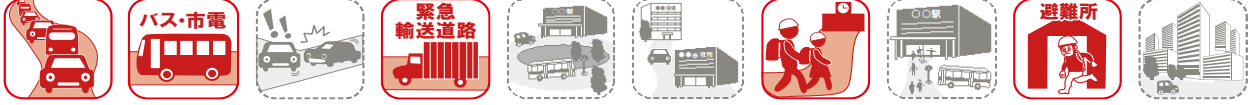


(参考)個票 一覽

● 環状通	・・・・・・・・	1
● 札幌北広島環状線 仮称)札幌江別大橋	・・・・・・・・	2
● 横新道	・・・・・・・・	3
● 篠路駅東通	・・・・・・・・	4
● 南1条通 (札幌駅前通 ~ 福住・桑園通)	・・・・・・・・	5
● 西7丁目通	・・・・・・・・	6
● 福住・桑園通	・・・・・・・・	7
● 米里・行啓通	・・・・・・・・	8
● 新琴似第5横通	・・・・・・・・	9
● 屯田・紅葉山通	・・・・・・・・	10
● 大野地第1中通	・・・・・・・・	11
● 石山・藤野通	・・・・・・・・	12
● 屯田・茨戸通	・・・・・・・・	13
● 山本通	・・・・・・・・	14
● 北郷公園南通	・・・・・・・・	15
● 厚別川左岸通	・・・・・・・・	16
● 西5丁目・樽川通	・・・・・・・・	17
● 花畔札幌線	・・・・・・・・	18
● 石山・穴の沢通	・・・・・・・・	19
● 山本小野津幌川沿線	・・・・・・・・	20
● 雁来篠路連絡線及び豊畑通線	・・・・・・・・	21
● 五輪通	・・・・・・・・	22
● 平岸通	・・・・・・・・	23
● 篠路駅西通	【令和3年度完了】	・・・・・・・・ 24
● 新琴似・屯田通	【令和3年度完了】	・・・・・・・・ 25
● 宮の森・北24条通 北24条桜大橋	【令和5年度完了】	・・・・・・・・ 26
● 新琴似3番通	【令和5年度完了】	・・・・・・・・ 27
● 真駒内御料札幌線	【令和5年度完了】	・・・・・・・・ 28

環状通

(1)路線の特徴



令和6年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・札幌都市圏の骨格幹線道路網の形成
- ・地域景観、地域防災力の向上

(3)事業概要

路線名	環状通
事業区間	菊水・旭山公園通～西7丁目通
事業延長	2830m
うち、事業着手区間	米里・行啓通～西7丁目通
うち、事業着手延長	2030m

現在の道路の状況

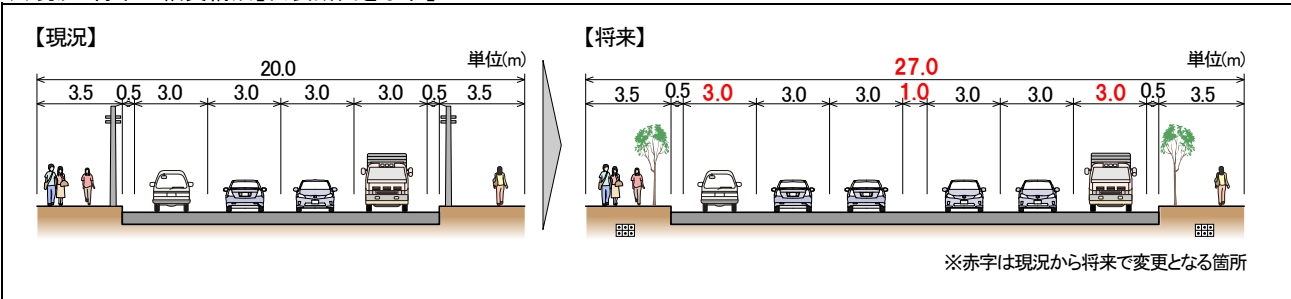
事業区間(整備前)



(4)位置図



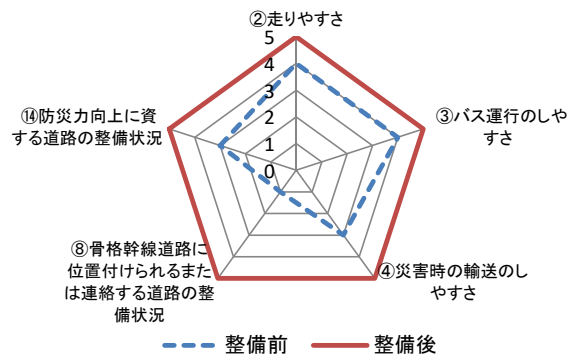
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	車線数増により交通の円滑性が向上 ランク4 車線数4	⇒	ランク5 車線数6
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク4 車道幅員13m	⇒	ランク5 車道幅員20m
④災害時の輸送のしやすさ	災害時に緊急輸送路として活用可能 ランク3 車道幅員13m	⇒	ランク5 車道幅員20m
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	電線地中化により道路の防災力が向上 ランク3 道路幅員15m超	⇒	ランク5 電線共同溝整備

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、⑮景観向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

札幌北広島環状線 (仮称) 札幌江別大橋

(1) 路線の特徴

平成27年10月作成



(2) 事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・札幌都市圏の骨格幹線道路網の形成
- ・札幌市と江別市を結ぶ道路ネットワークの形成
- ・地域間の連携強化

(3) 事業概要

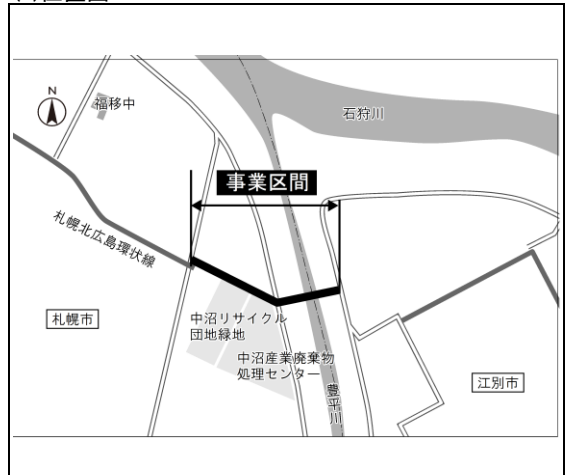
路線名	札幌北広島環状線 (仮称) 札幌江別大橋
事業区間	福移沼端線～江別市界
事業延長	700m
うち、事業着手区間	-
うち、事業着手延長	-

現在の道路の状況

事業区間(整備前)



(4) 位置図

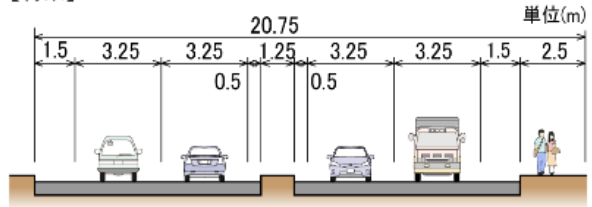


(5) 現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

【現況】

現道なし

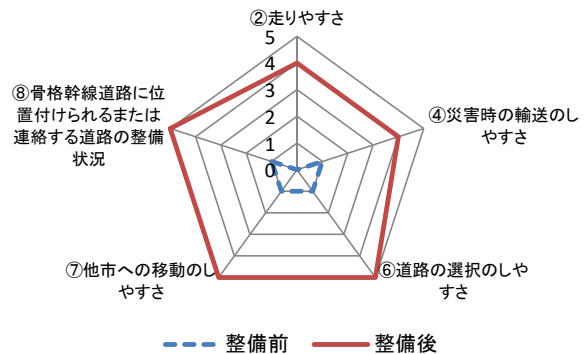
【将来】



(6) 整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	車線数増により交通の円滑性が向上 -		ランク4 車線数4
④災害時の輸送のしやすさ	ランク1 車道幅員0m	⇒	ランク4 車道幅員17.75m
⑥道路の選択のしやすさ	道路の整備により、選択可能な道路が増加 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑦他市への移動のしやすさ	道路の整備により、他市との連絡が強化 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形成または連絡強化 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり

【グラフ】



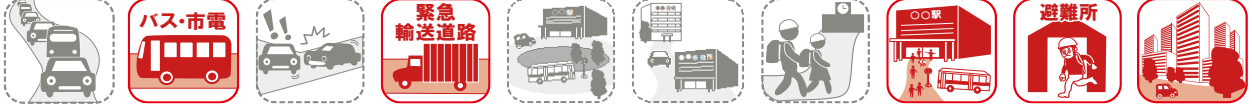
(7) 備考

上記の他に、⑬まちづくりを支援する道路の整備状況 ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

横新道

(1)路線の特徴

令和3年3月作成



(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・篠路駅周辺地区の市街地整備の促進

(3)事業概要

路線名	横新道
事業区間	東8丁目・篠路通～上篠路循環通
事業延長	770m
うち、事業着手区間	-
うち、事業着手延長	-

現在の道路の状況

踏切による混雑状況(夏期)

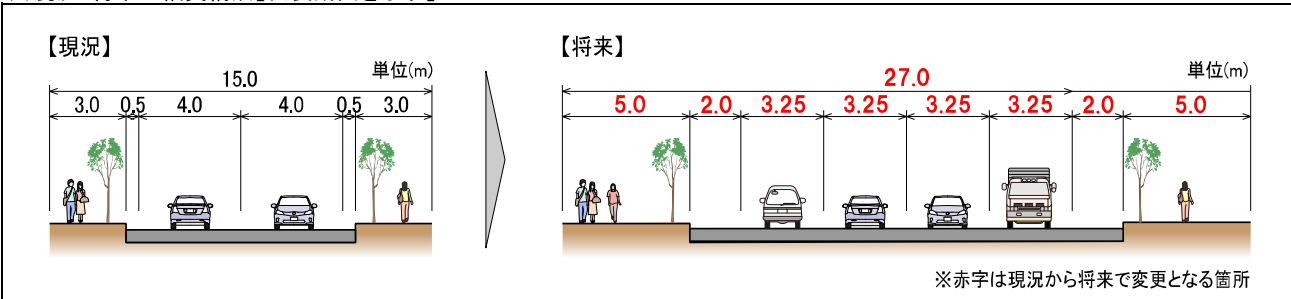
踏切による混雑状況(冬期)



(4)位置図



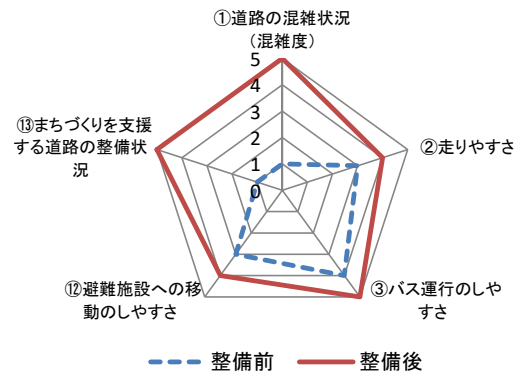
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
①道路の混雑状況(混雑度)	交通容量が増大し、交通の円滑性が向上 ランク1 1.77	⇒	ランク5 0.89
②走りやすさ	車線数増により交通の円滑性が向上 ランク3 車線数2	⇒	ランク4 車線数4
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク4 車道幅員9m	⇒	ランク5 車道幅員13m
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広がることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員3m	⇒	ランク4 歩道幅員3.5m
⑬まちづくりを支援する道路の整備状況	近傍にある地区計画の市街地形成を支援 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑪駅等への移動のしやすさ ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

篠路駅東通

(1)路線の特徴

令和3年3月作成



(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさの向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・交通結節点へのアクセス向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・篠路駅周辺地区の市街地整備の促進

(3)事業概要

路線名	篠路駅東通
事業区間	篠路3条7丁目～上篠路ゆうあい通
事業延長	80m
うち、事業着手区間	-
うち、事業着手延長	-

現在の道路の状況

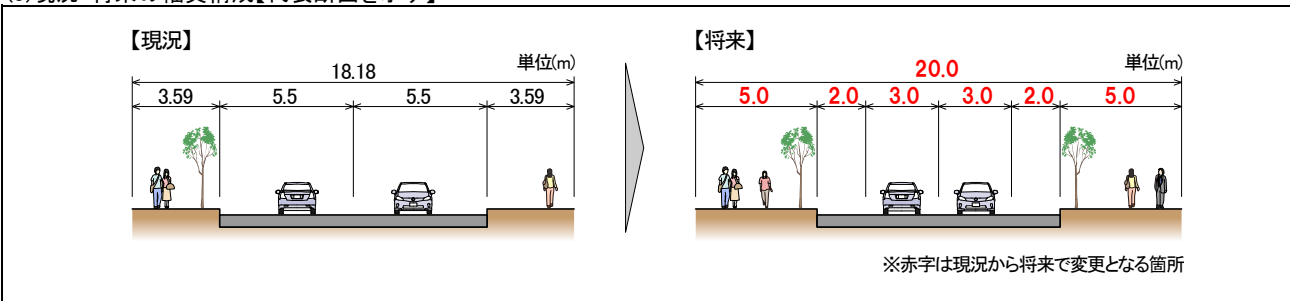
事業区間(整備前)



(4)位置図



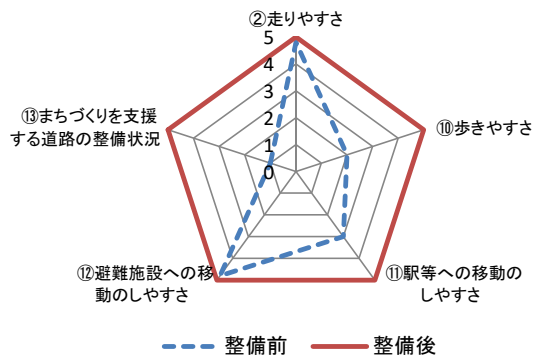
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク5 路肩幅員2m	⇒	ランク5 路肩幅員2m
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク2 歩道幅員3.59m	⇒	ランク5 歩道幅員5m
⑪駅等への移動のしやすさ	駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 ランク3 歩道幅員3.59m	⇒	ランク5 歩道幅員5m
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広がることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク5 歩道幅員3.59m	⇒	ランク5 歩道幅員5m
⑬まちづくりを支援する道路の整備状況	近傍にある地区計画の市街地形成を支援 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり

【グラフ】



(7)備考

南1条通

令和8年3月作成

(1)路線の特徴



(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩道の歩きやすさの向上
- ・路面電車の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・地域景観、地域防災力の向上

(3)事業概要

路線名	南1条通
事業区間	札幌駅前通～福住・桑園通
事業延長	1410m
うち、事業着手区間	札幌駅前通～石山通
うち、事業着手延長	910m

現在の道路の状況

路肩が狭く堆雪スペース確保が困難



歩道が狭くすれ違いが困難



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

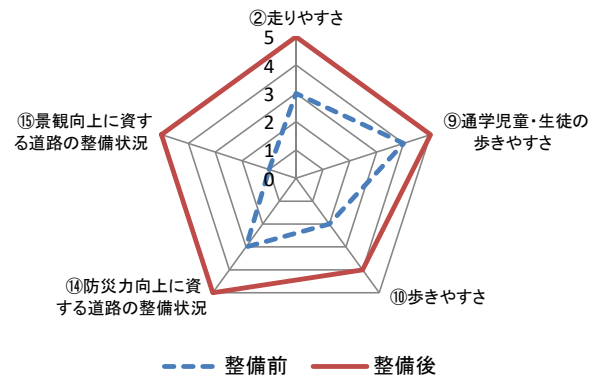


※赤字は現況から将来で変更となる箇所

(6)整備効果

指標	整備前	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク3 路肩幅員1.25m	ランク5 路肩幅員2m
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク4 歩道幅員3m	ランク5 歩道幅員4.5m
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク2 歩道幅員3m	ランク4 歩道幅員4.5m
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	電線地中化により道路の防災力が向上 ランク3 道路幅員15m超	ランク5 電線共同溝整備
⑮景観向上に資する道路の整備状況	道路の整備により、沿道の景観が向上 ランク1 電線地中化なし	ランク5 電線地中化あり

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 ⑪駅等への移動のしやすさ ⑫避難施設への移動のしやすさ の面で整備効果があると考えられます。

西7丁目通

(1)路線の特徴



平成31年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・路面電車の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセシビリティ向上
- ・避難所へのアクセシビリティ向上
- ・地域景観、地域防災力の向上

(3)事業概要

路線名	西7丁目通
事業区間	月寒通～環状通
事業延長	2270m
うち、事業着手区間	月寒通～米里・行啓通
うち、事業着手延長	1510m
現在の道路の状況	

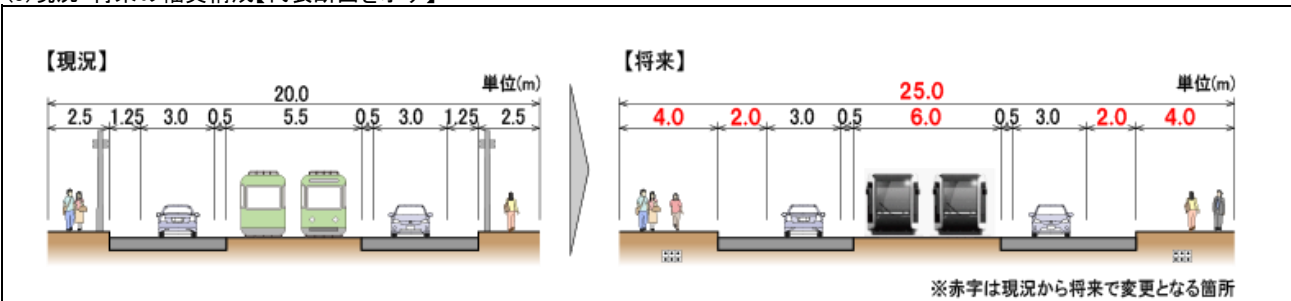
事業区間(整備前)



(4)位置図



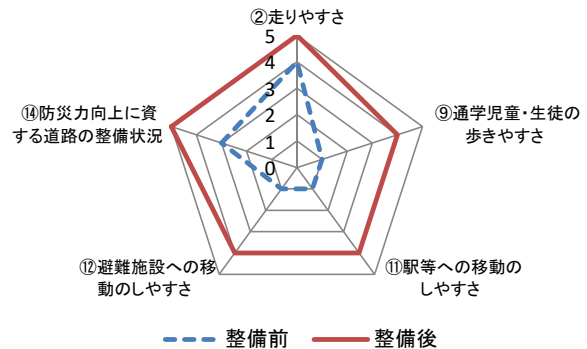
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク4 路肩幅員1.75m	⇒	ランク5 路肩幅員2.5m
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク1 歩道幅員2.5m	⇒	ランク4 歩道幅員4m
⑪駅等への移動のしやすさ	駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 ランク1 歩道幅員2.5m	⇒	ランク4 歩道幅員4m
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク1 歩道幅員2.5m	⇒	ランク4 歩道幅員4m
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	電線地中化により道路の防災力が向上 ランク3 道路幅員15m超	⇒	ランク5 電線共同溝整備

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 ⑩歩きやすさ ⑮景観向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

福住・桑園通

(1)路線の特徴

平成31年3月作成



(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・路面電車の利便性・定時性向上
- ・事故危険性の低減
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・地域景観、地域防災力の向上

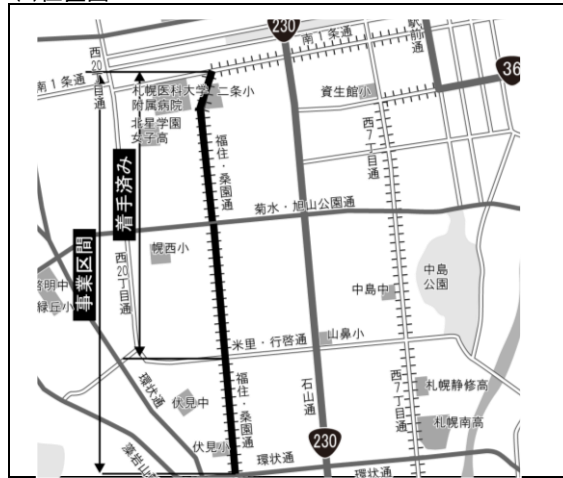
(3)事業概要

路線名	福住・桑園通
事業区間	南1条通～環状通
事業延長	2550m
うち、事業着手区間	南1条通～米里・行啓通
うち、事業着手延長	1790m

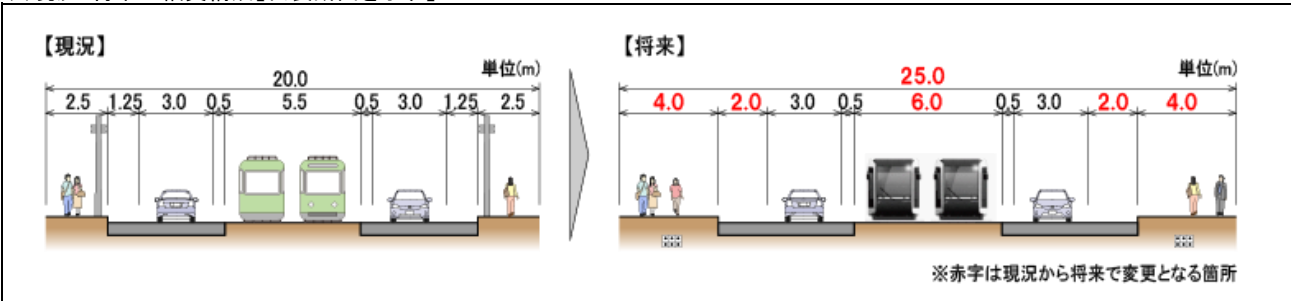
現在の道路の状況



(4)位置図



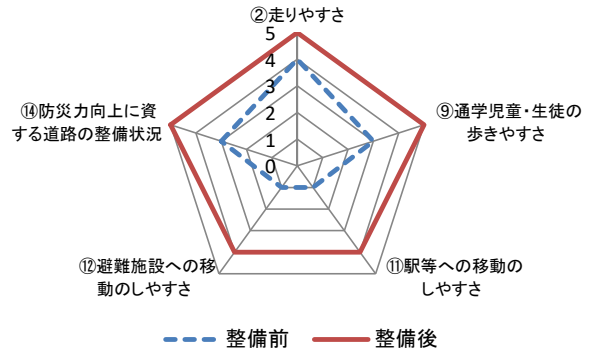
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク4 路肩幅員1.75m	⇒	ランク5 路肩幅員2.5m
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク3 歩道幅員2.5m	⇒	ランク5 歩道幅員4m
⑪駅等への移動のしやすさ	駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 ランク1 歩道幅員2.5m	⇒	ランク4 歩道幅員4m
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク1 歩道幅員2.5m	⇒	ランク4 歩道幅員4m
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	電線地中化により道路の防災力が向上 ランク3 道路幅員15m超	⇒	ランク5 電線共同溝整備

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 ⑩歩きやすさ ⑮景観向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

米里・行啓通

(1)路線の特徴



令和8年3月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩道の歩きやすさの向上
- ・公共交通機関(バス)の利便性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・地域景観、地域防災力の向上
- ・右折レーン設置による混雑緩和

(3)事業概要

路線名	米里・行啓通
事業区間	西20丁目通～西7丁目通
事業延長	1650m
うち、事業着手区間	西7丁目通～福住・桑園通
うち、事業着手延長	1120m

現在の道路の状況

国道230号との交差点からの渋滞

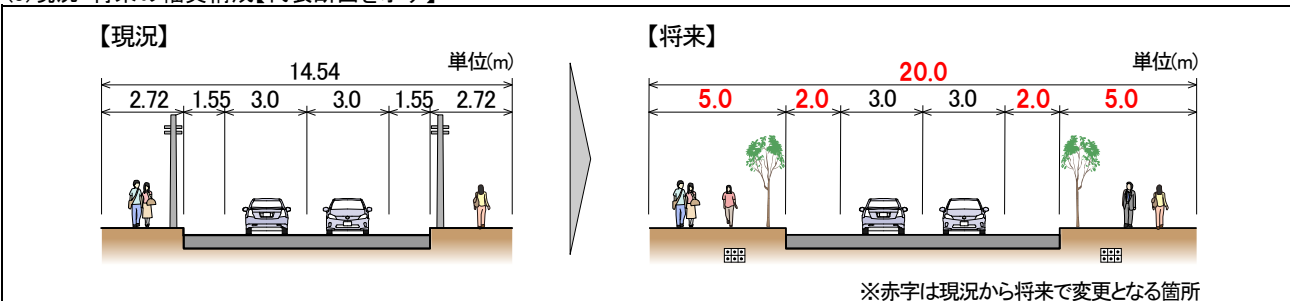
歩道の状況



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク4 路肩幅員1.5m	⇒	ランク5 路肩幅員2m
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク2 歩道幅員2.72m	⇒	ランク5 歩道幅員5m
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2.72m	⇒	ランク5 歩道幅員5m
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員2.72m	⇒	ランク5 歩道幅員5m
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	電線地中化により道路の防災力が向上 ランク1 道路幅員15m以下	⇒	ランク5 電線共同溝整備

【グラフ】

--- 整備前 — 整備後

(7)備考

上記の他に、①道路の混雑状況(混雑度) ③バス運行のしやすさ ④災害時の輸送のしやすさ ⑤骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 ⑥駅等への移動のしやすさ ⑦景観向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

新琴似第5横通

(1)路線の特徴



(2)事業目的

- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・札幌市と石狩市を結ぶ道路ネットワークの形成、連携強化

(3)事業概要

路線名	新琴似第5横通
事業区間	屯田4番通～石狩市界
事業延長	320m
うち、事業着手区間	-
うち、事業着手延長	-

現在の道路の状況

事業区間(整備前)

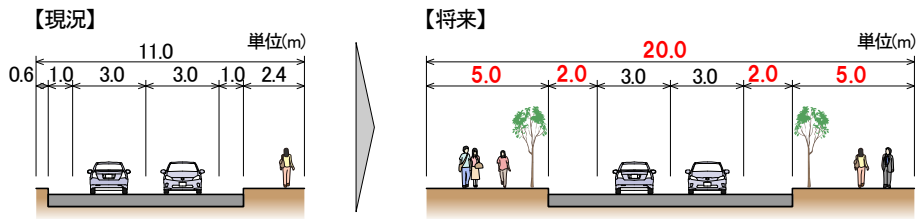
事業区間(整備前)



(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

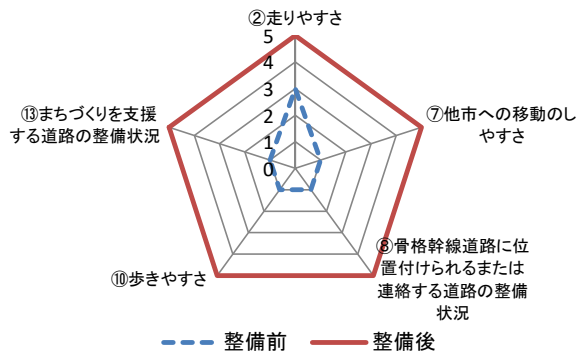


※赤字は現況から将来で変更となる箇所

(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク3 路肩幅員1m	⇒	ランク5 路肩幅員2m
⑦他市への移動のしやすさ	道路の整備により、他市との連絡が強化 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形成または連絡強化 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2.4m	⇒	ランク5 歩道幅員5m
⑬まちづくりを支援する道路の整備状況	道路の整備により、周辺市街地形成を支援 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑬防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

屯田・紅葉山通

(1)路線の特徴

平成27年10月作成



(2)事業目的

- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・札幌市と石狩市を結ぶ道路ネットワークの形成、連携強化

(3)事業概要

路線名	屯田・紅葉山通
事業区間	防風林南通～石狩市界
事業延長	160m
うち、事業着手区間	防風林南通～屯田・茨戸通
うち、事業着手延長	100m

現在の道路の状況

事業区間(一部整備済み)



事業区間(未整備区間)

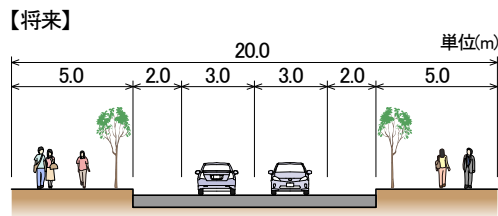


(4)位置図



(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

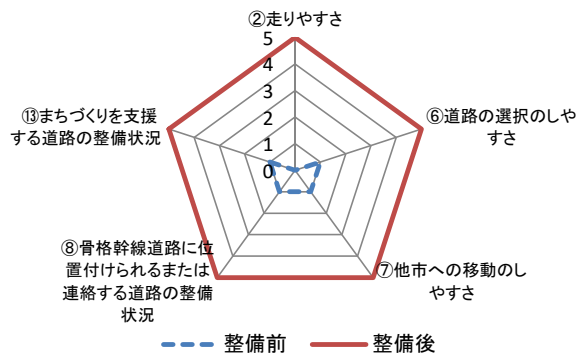
現道なし



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	-	⇒	ランク5
⑥道路の選択のしやすさ	路肩幅員-m	⇒	路肩幅員2m
⑦他市への移動のしやすさ	整備なし	⇒	整備あり
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	整備なし	⇒	整備あり
⑬まちづくりを支援する道路の整備状況	整備なし	⇒	整備あり

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑬防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

大野地第1中通

(1)路線の特徴

平成27年10月作成



(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・道路ネットワークの構築
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・地域間の連携強化
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

路線名	大野地第1中通
事業区間	ひまわり通～茨戸・福移通
事業延長	630m
うち、事業着手区間	-
うち、事業着手延長	-

現在の道路の状況

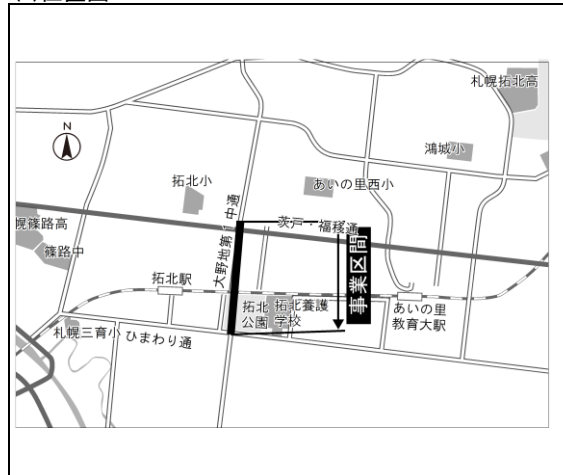
事業区間(整備前JR南側)



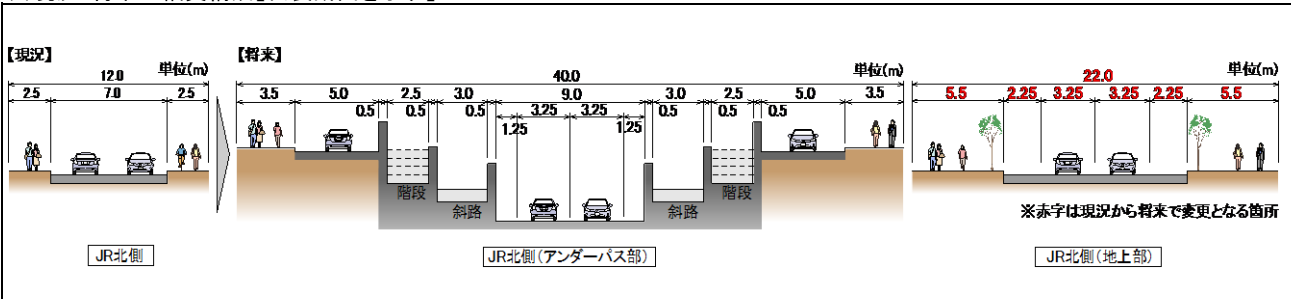
事業区間(整備前JR北側)



(4)位置図



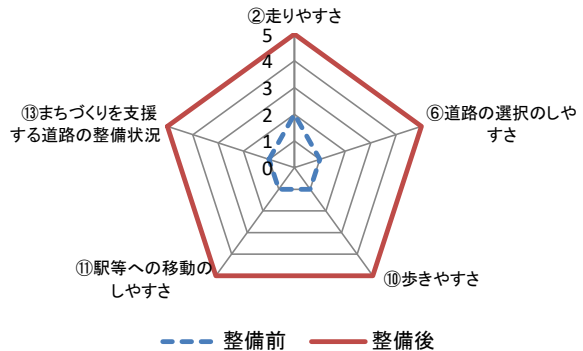
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m	⇒	ランク5 路肩幅員2.25m
⑥道路の選択のしやすさ	道路の整備により、選択可能な道路が増加 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2.5m	⇒	ランク5 歩道幅員5.5m
⑪駅等への移動のしやすさ	駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 ランク1 歩道幅員2.5m	⇒	ランク5 歩道幅員5.5m
⑬まちづくりを支援する道路の整備状況	道路の整備により、周辺市街地形成を支援 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり

【グラフ】



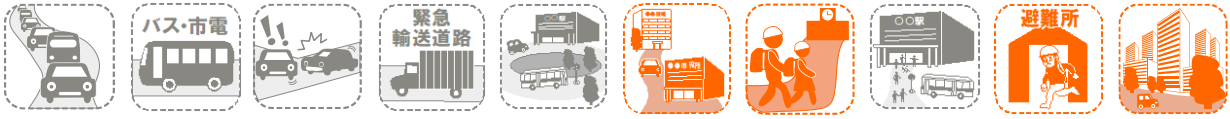
(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況 ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

石山・藤野通

(1)路線の特徴

令和4年3月作成



(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・道路ネットワークの構築
- ・地域間の連携強化
- ・道路整備による石山・藤野・簾舞地区地域交通計画の推進
- ・避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

路線名	石山・藤野通
事業区間	藤野1号通～石山・穴の沢通
事業延長	860m
うち、事業着手区間	藤野1号通～石山・穴の沢通
うち、事業着手延長	860m

現在の道路の状況

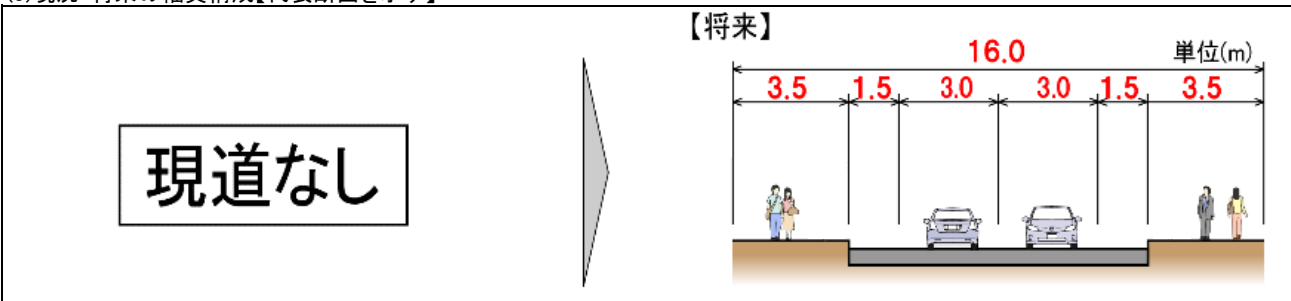
事業区間(整備前)



(4)位置図



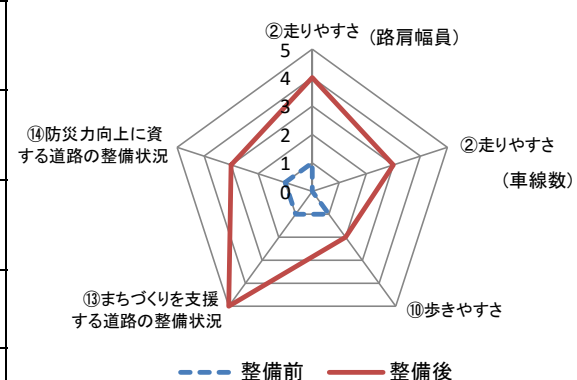
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク1 路肩幅員0m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m
②走りやすさ	- 車線数0	⇒	ランク3 車線数2
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員0m	⇒	ランク2 歩道幅員3.5m
⑬まちづくりを支援する道路の整備状況	近傍にある地区計画の市街地形成を支援 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	道路幅員増により道路の防災力が向上 ランク1 道路幅員15m以下	⇒	ランク3 道路幅員15m超

【グラフ】



(7)備考

屯田・茨戸通

(1)路線の特徴

平成27年10月作成



(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・道路ネットワークの構築
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・他都市との連携強化
- ・札幌都市圏の骨格幹線道路網の形成
- ・避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

路線名	屯田・茨戸通
事業区間	花川通～創成川通
事業延長	4450m
うち、事業着手区間	花川通～創成川通
うち、事業着手延長	4450m

現在の道路の状況

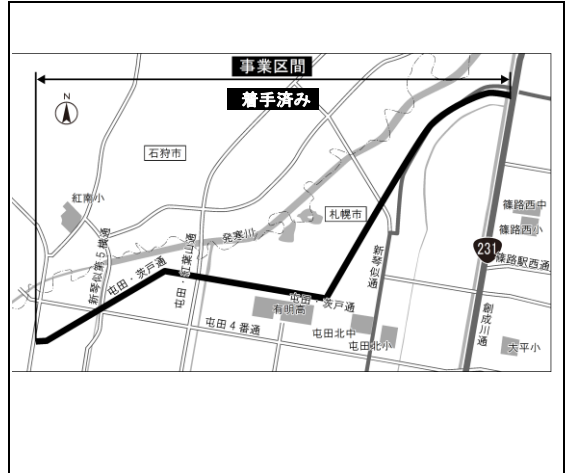
事業区間(整備前)



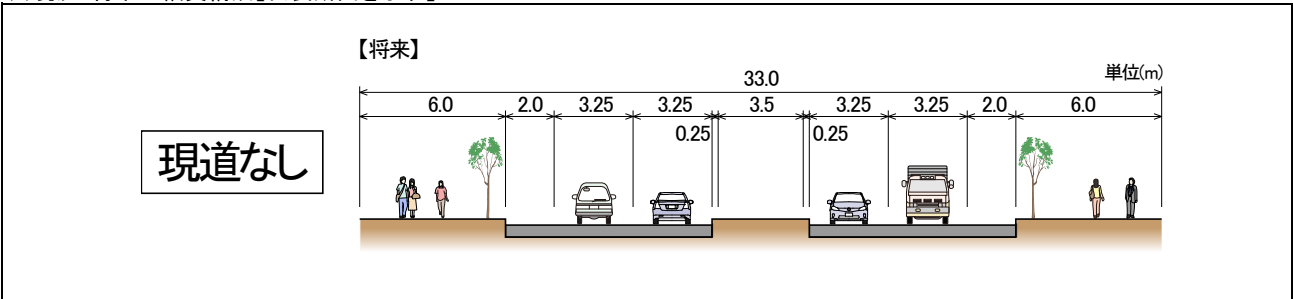
現道活用区間



(4)位置図



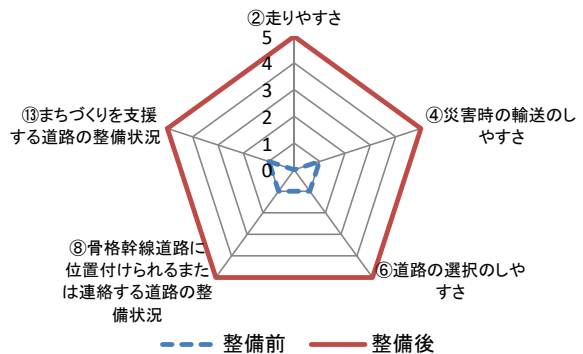
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 - 路肩幅員-m	⇒	ランク5 路肩幅員2m
④災害時の輸送のしやすさ	ランク1 車道幅員0m	⇒	ランク5 車道幅員21m
⑥道路の選択のしやすさ	道路の整備により、選択可能な道路が増加 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形成または連絡強化 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑬まちづくりを支援する道路の整備状況	道路の整備により、周辺市街地形成を支援 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

山本通

(1)路線の特徴



平成27年10月作成

(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

路線名	山本通
事業区間	三里川～厚別通
事業延長	1620m
うち、事業着手区間	三里川～厚別通
うち、事業着手延長	1620m

現在の道路の状況

橋梁部(歩道を通学路として利用)

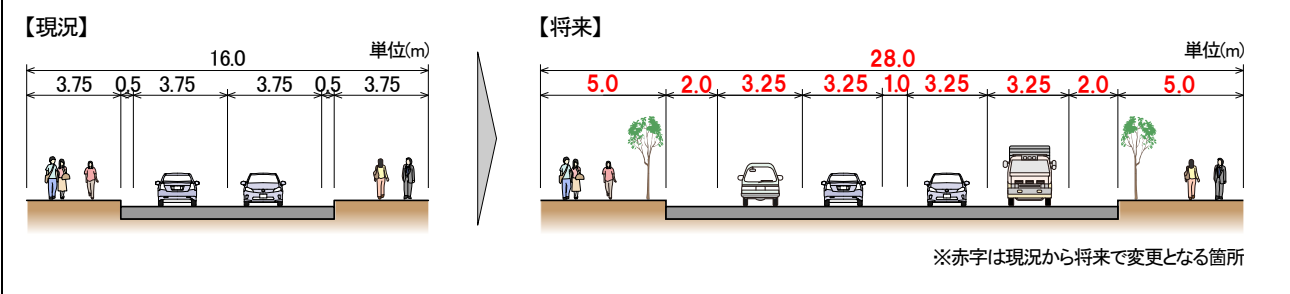
事業区間(整備前)



(4)位置図



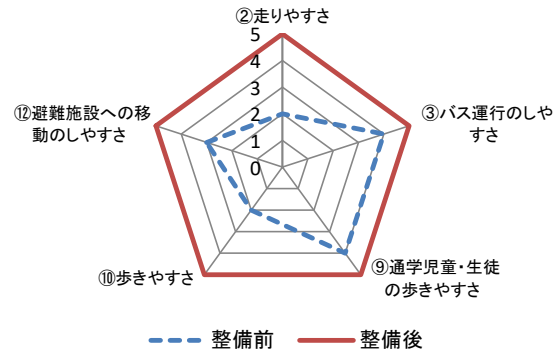
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m	⇒	ランク5 路肩幅員2m
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク4 車道幅員8.5m	⇒	ランク5 車道幅員18m
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク4 歩道幅員3.75m	⇒	ランク5 歩道幅員5m
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク2 歩道幅員3.75m	⇒	ランク5 歩道幅員5m
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員3.75m	⇒	ランク5 歩道幅員5m

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況の面で整備効果があると考えられます。

北郷公園南通

(1)路線の特徴

平成27年10月作成



(2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

(3)事業概要

路線名	北郷公園南通
事業区間	月寒川西通～8線幹道線
事業延長	770m
うち、事業着手区間	月寒川西通～8線幹道線
うち、事業着手延長	770m

現在の道路の状況

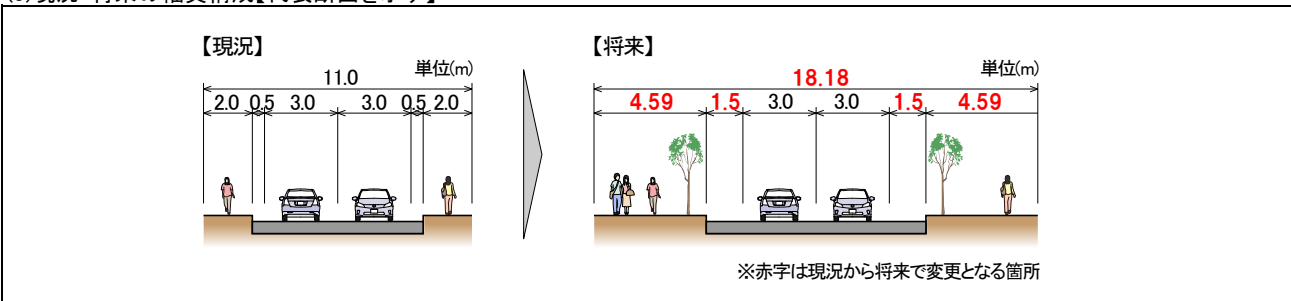
冬期のバスと大型車のすれ違い状況 狭隘な歩道(冬期)



(4)位置図



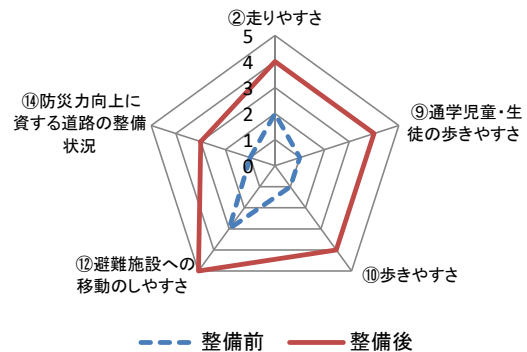
(5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



(6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク1 歩道幅員2m	⇒	ランク4 歩道幅員4.59m
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2m	⇒	ランク4 歩道幅員4.59m
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員2m	⇒	ランク5 歩道幅員4.59m
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	道路幅員増により道路の防災力が向上 ランク1 道路幅員15m以下	⇒	ランク3 道路幅員15m超

【グラフ】



(7)備考

上記の他に、③バス運行のしやすさ④災害時の輸送のしやすさ の面で整備効果があると考えられます。